

教科		地理歴史	科目	地理 B		学年	2	単位数	3
類型		共通 ・ 文系 ・ 理系			履修規程	必修 ・ 選択			
学習の到達目標					使用する主な教材				
1 現代の諸課題を地理的観点から考察させることによって、地理的思考を培う。 2 国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					新詳地理 B（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）				
期	月	配当時間	学習内容		学習の具体的内容とねらい				
第一学期	4	11	第Ⅰ部 さまざまな地図と地理的技能 1章 地理情報と地図		現代世界の地図について、様々な時代や種類の地図の読図などの活動を通じて、各時代の人々の世界観を捉え、現代の地図や身近な地図の有用性に気づく。				
	5	1	中間考査						
	6	12	第Ⅱ部 現代世界の系統地理的考察 1章 自然環境		世界の気候について、気候要素と気候因子の関係から、その成り立ちを考察し、それぞれの気候区の特徴と農業など人間生活への影響を考察する。				
	7	4	2章 資源と産業 ・ 1 節 産業の発達と変化 ・ 2 節 世界の農林水産業 ・ 3 節 食料問題		産業の発達と変化について、自然環境との関わりやグローバル化の視点から考察する。				
	8	2	・ 4 節 世界のエネルギー・鉱産資源 ・ 5 節 資源・エネルギー問題		資源・エネルギー問題について、現代世界の資源・エネルギー問題を大観し、世界の資源をめぐる問題、エネルギー生産や消費の抱える課題、日本の資源・エネルギー問題を考察する。				
第二学期	9	12	・ 6 節 世界の工業 ・ 7 節 第3次産業 ・ 8 節 世界を結ぶ交通・通信 ・ 9 節 現代世界の貿易と経済圏		世界の工業について、工業の発達や立地、世界の工業地域や、世界の工業の現状と課題、及び日本の工業の課題を考察する。 現代世界の貿易と経済圏について、世界貿易や経済圏の現状と課題や、世界のなかでの日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。				
	10	1	中間考査						
	11	12	3章 人口、村落・都市		人口問題について、世界の人口問題を大観し、発展途上国、先進国、日本の人口問題の事例を考察する。				
	12	6	4章 生活文化、民族・宗教 ・ 1 節 生活文化 ・ 2 節 民族と宗教		民族と宗教について、民族と言語、世界の宗教の分布や特徴、生活との関わりについて考察する。				
	1	9	・ 3 節 現代世界の国家 ・ 4 節 民族・領土問題		民族・領土問題について、現代世界の民族・領土問題を大観し、日本の民族や領土、世界各地の民族の共生についての課題を考察する。				
第三学期	2	6	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分		地域区分とは何かについて、地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。				
	3	1	学年末考査						
	3	3	2章 現代世界の諸地域 ・ 1 節 地誌の考察方法		地誌の考察方法について、地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。				
評価の方法			定期考査および小テストの実施、課題提出等を総合して評価する。						